ある。地主が返還訴訟を起して判決のある地は耕作する權利がある若し調停地に判決のある前地主が立入り植付け等を爲した時は其れを引拔き小作人が植換へて差支ない其の田地は判決ある地は小作人に占有權があるから地主と雖つても乘りに立入る事は出來ない土地返還訴訟は判決ある地相當日數を要するから其の間に小作人は面積丈の力に依り地主を問ます手數に出なければならぬ。

土地返還は小作人が耕作して居れば少しも差支ない必要はない此の調停をすると雖ふ事に對しては左よしても小作人を說得すべき必要であります。

終りに小作料に就て一言述べて見ます。小作料の減額は其の年其の年に依つて定める事が必要である故く小作調停等に掛けることがあるが小作調停は小作人に取つては迅速不利なものである。小作調停は大審院の判決と少し効力を持つて居るから若し小作人が調停條項に反した場合は直ちに執行せらるゝのである。